

I C Tで 授業 をD X！

学年 小学校3年 教科 社会 など

今昔マップで、「市のうつりかわり」が一目でわかる

使用するアプリケーション等

- ・ミライシード
- ・今昔マップ
- ・ビデオ機能

単元・題材 市のうつりかわり

本時の目標 今昔マップを用いて、鉄道や道路の移り変わりを読みとり、生活の影響を考えることができる。〈思考力、判断力、表現力等〉

I C Tを活用することで できること

- ・地図などの掲示資料が、手元で見ることができる。
- ・「時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」 ((C)谷 謙二) <https://ktgis.net/kjmapw/> (以下、「今昔マップ」))」を使うことで、今と昔の地図を比較できるので、土地利用の変化をつかむのに、多くの地図を広げてみる必要がない。
- ・本時の振り返りをミライシードのオクリンクにおいて送らせ、全員が見れるようにすることで、全員の意見を見ることができる。
- ・事前にゲストティーチャーの話を録画しておくことで、繰り返し聞きたいことがあれば何度でも再生することができる。

D X前 (I C Tを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ① 今から100年前の入間市の道路や鉄道の地図と、現在の地図を比べて気づくことを話し合う。

2 展開

課題

市の道路や鉄道は、いつできて、人々の生活はどのようにかわってきたのでしょうか。

- ① 鉄道（駅がいつできたか）について、国土地理院発行の地図を見比べながら調べる。
- ② 道路（国道）がいつできたかについて、国土地理院発行の地図を見比べながら調べる。
- ③ 道路（高速道路）がいつできたかについて、国土地理院発行の地図を見比べながら調べる。
 - 国土地理院が発行する地図を広げながら、いつごろその交通機関ができたのか調べる。
- ④ 道路や鉄道が整備されたことによる生活の影響を考え、地元の人たちの話を聞く。
 - 生活への影響について、当時を知っている地元の方に話を聞く。

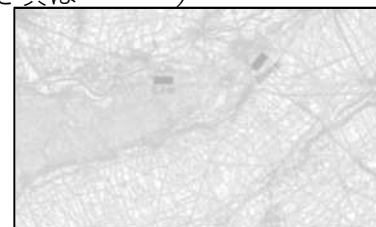
3 まとめ

- ① 児童の言葉でまとめを行う。

まとめ

市の道路や鉄道が増えていくにしたがって、人々の生活も大きく変わってきた。

- ② 振り返りを行う。
 - ノートに書く。



100年前の入間市の道路や鉄



現在の入間市の道路や鉄道

DX!

D X後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ① 今から100年前の入間市の道路や鉄道の地図と、現在の地図を比べて気づくことを話し合う。

2 展開

課題

市の道路や鉄道は、いつできて、人々の生活はどのようにかわってきたのでしょうか。

- ① 鉄道について今昔マップで調べ、話し合う。
 - 今昔マップで表示させたい場所、年代を指定し、駅がいつからできたのか調べる活動を行う。
- ② 道路（国道）について今昔マップで調べ、調べ、話し合う。
- ③ 道路（高速道路）について今昔マップで話し合う。
 - ②、③も同様に、今昔マップで表示させたい場所、年代を指定し、駅がいつからできたのか調べる活動を行う。
- ④ 道路や鉄道が整備されたことによる生活の影響を考え、地元の人たちの話を聞く。
 - 生活への影響について、当時を知っている地元の方のインタビュー映像を見る。



今昔マップは、右画面に現在の地図、左画面に過去の地図を並べて表示ができる。また、任意の年を設定して表示することもできるため、様々な年代の地図を広げる必要がない。

3 まとめ

- ① 児童の言葉でまとめを行う。

まとめ

市の道路や鉄道が増えていくにしたがって、人々の生活も大きく変わってきた。

- ② 振り返りを行う。
 - ノートに書いたものを、写真で撮って、ミライシード（オクリンク）で送る。
 - 全員の振り返りを見ながら、何人か取り上げて発表する。

授業者から（成果・課題・留意点）

- ・様々な地図を広げる場所が必要なくなったり、調べる時間が短縮されたりすることで、児童の「考える時間」が増えた。
- ・市の道路や鉄道だけでなく、市の土地利用や自分の地域の移り変わりに興味関心を持つ児童が増え、普段から今昔マップを操作する児童がいた。
- ・児童によっては、地図操作が苦手な児童がいるので、普段から地図操作を授業の中で取り入れたり、個別に声を掛けたりする必要がある。